

令和3年11月5日掲載

熊本日日新聞 読者の広場「若者コーナー」

2年 尾上 佳穂（おのうえ かほ）さん

タイトル：「感謝され充実 朝の清掃活動」

私は最近、始業前にボランティア活動を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった職場体験の代わりに、2年生全体で取り組んだ学校周辺の清掃活動がきっかけでした。2日間の作業は終了しましたが、時間が足りず、集めた草が草捨て場からはみ出ている状況がありました。

そこは、通学する生徒も通るし、近所の方も散歩されるので、通るときに嫌な思いをしてほしくないという思いから始めることにしました。

毎朝少し早く登校して、掃き掃除を行いました。初めてしばらくたった頃、近所の方が「いつもありがとうね。どんどんきれいになっていって、朝からとても良い気持ちになるよ」と声をかけてくださいました。

ただ自己満足で行っていたことでしたが、実際に声をかけてもらえると、とてもうれしい気持ちになりました。

通学中の生徒のみんなからも、「いつもありがとうね」と度々言ってもらえるようになり、だんだんこの活動にやりがいを感じるようになりました。また、手伝ってくれる友達も出てきて、朝のボランティアの時間がとても楽しく、自分の中で有意義なものになっていきました。

清掃活動をする日は、母がいつもの日以上に早起きして朝ご飯を作ってくれるので、申し訳なく思うこともあります。日数は少なくなるかもしれませんが、人に感謝してもらえたときの充実感を忘れず、この活動を続けていきたいと思います。